

# 日本共産党議員団ニュース

【No.554号】日本共産党伊勢原市会議員団 2019年11月14日

宮脇俊彦 94-7584 Email:jcp.isehara.miyawaki@gmail.com

川添康大 45-0596 Email:yasuhiro.k120@gmail.com

事務所 TEL・FAX:93-1169

HP: <http://isehara.kir.jp/kyou01.html>

## 市民のくらしが大変に なっていることを認識しているか？

9月議会で宮脇俊彦議員は、「小学校給食調理の民間委託問題」「公共施設有料化以後の実態について」に続いて3番目に「市民のくらしの状況をどう認識しているか」を質問しました。



質問・・・今日は10月1日です。ご存じのように

消費税10%増税がはじまりました。

市民のくらしの状況はどういう状況にあるか。

- ・毎月勤労統計によると実質賃金は7ヶ月連続マイナスです。
- ・市民の課税所得は低迷が続いています。H30年度の伊勢原市民の課税所得平均値は344.5万円となっています。25年前に比べ80万円も低下しています。(伊勢原市発行の行政資料より)



・H30年度の市民の課税所得は300万円以下が77.4%を占め大変厳しい状況です。こうした時に、伊勢原市では、H30年度市民負担を増やしました。

- ・下水道料金の値上げ、公共施設の有料化です。

- (国政では)
- ・年金の将来不安、2000万円の不足が言われ、毎年の年金受給額は減り続けています。(世界に目を転じれば)
- ・米中貿易摩擦、日韓の対立、ヨーロッパ経済の後退、中東の紛争など国際情勢の不安定化があります。



将来に対する不安が市民に広がっています。。  
そこで市長に伺います。

- (1)市民が厳しいくらしの状況に置かれているとの認識がありますか
- (2)本来であれば、減税してでも市民の懐を温める政治を行うべき時に、日本では、消費税10%増税が強行される。こうした時だからこそ、市長は市政の本文である「市民、福祉・暮らしを守る役割」を発揮し、市民のくらしを守る市政を行う決意があるか、市長に伺います。

## 今こそ、市民のくらしを 守ることが市政の役割では

答弁・・・近年の景気回復基調や雇用環境の改善傾向の下、本市の個人市民税をはじめとした税収は増加傾向となっています。また、一人当たりの所得金額を見ましても、緩やかではありますが、上昇傾向となっています。

しかし、生活必需品や各種サービスの値上がりに加え、



天候不順等による農作物の不作・高騰なども見られ、負担の増大を感じている市民の方も多いと認識しています。また、多発する自然災害や不安定な国際情勢、消費税の引き上げ、

老後の生活不安など、様々な不安要素を抱える方も多いことと思います。

市としては、市民の暮らしの安全・安心を第一にセーフティネットとしての生活支援や自立支援をはじめ、誰もが、いつでも地域で安心して暮らせるよう、取り組みをすすめます。



## 新年度予算編成で「市民負担軽減」の施策行う決意はあるか

**質問**・・新年度、予算編成の次期になっています先の答弁で「市民くらしの安全・安心の取り組みを進める」との答弁がありましたが、その決意を示していただきたい。

**答弁**・・市としては、市民の暮らしを守る視点を大切に予算編成を行います。

## 市の新年度予算編成をしっかりと注視

次に9月議会で平成30年度決算審査で宮脇俊彦議員が行なった討論の抜粋を報告します。（詳しくは市のホームページで）

平成30年度は政府の公的サービスの産業化路線を受け、伊勢原市でも学校や公共施設などの行政サービスの有料化や、

民営化・民間委託がすすめられた年でした。例えば、社会保障分野の国民健康保険では、一般会計からの繰入が減額される。高い保険料を協



会健保なみに引き下げるよう求めましたが応じられませんでした。介護保険料は、7期より市民の声に押され、平均介護保険料が月250円（年間3000円）引き下げられました。しかし平成30年度決算ではさらに基金を1000万円積み増す結果となりました。30年度予算審議のなかで「3年かけて基金を取り崩し活用し、介護保険料の軽減を計る」と答弁しましたが、引き下げは不十分だったことが明らかになりました。利用料の3割負担をはじめ利用しにくい状況が始まっています。

介護労働者の処遇改善も言葉だけで、改善が進んでいません。国の方針言いなりではなく、市民の実態に合った市の施策が求められています。国の方針があまりにも性急に変わるため、自治体の対応が非常に困難な状況になっている実態も今議会の審議のなかで明らかになりました。

こうした状況を踏まえ、平成30年度決算には反対を表明します。

## 100歳体操始めました

「大田公民館で毎週金曜日、大田いきいき百歳体操をやってるよ」とのお誘いを受け、さっそく先日参加しました。ゆっくりしたリズムで手・足を動かす体操です。

テレビのビデオからゆったりした口調で先生が見本の動きを指導してくれます。周りの参加者の動きも参考にしながら45分間体操を行いました。100歳体操というとおり、だれでも自分の体調に合わせてできそうです。終了時には爽快感が残りました。（宮脇俊彦）

